

# 防災事例

項目	内容
テーマ	避難所活動に向けてのイメージトレーニング ①クロスロード、②HUG(避難所運営ゲーム)、③目黒巻、④DIG(避難経路選択)
種類	①訓練 ②イベント ③備蓄 ④商品 ⑤その他
開催日時	平成25年9月21日 19:25~21:00
場所	六郷工科高等学校
主催者	六郷工科高等学校(都教育委員会の指導による開催)
対象者	第一学年の全生徒(約200名)
ポイント	災害時における避難行動や避難所での活動について、参加者各々の考え方の違いを認識しながらイメージトレーニングを行うことで、問題意識を強くし災害時の行動につなぐことが期待できる。 ・与えられた課題や検討事項を個人で考え、判断を出す。 ・班員と相談して判断をすることや、相互に成果物を見せ合い、考え方の違い等を共有する。
具体的内容	<p><b>① クロスロード</b> 防災に関するジレンマ(判断の別れる事例)を素材として、二者択一の設問にイエスまたはノーで判断し、自らの問題として考えるとともに相互に意見交換をしました。 (1)神戸編・一般編:行政職員や避難所運営者のジレンマを学習するものとして、主に自治体職員を対象としたもの。 (2)市民編:災害時の行動などを学習するものとして、一般の方や自主防災組織の方など幅広い方を対象としたもの。</p> <p><b>② HUG(避難所運営ゲーム)</b> 避難者が抱える様々な事情を考えながら避難所でどう受け入れるか、また、避難所で起こる多様な出来事にどう対応するかを疑似体験しました。</p> <p><b>③ 目黒巻</b> 災害が発生したときの自分の状態をイメージしながら、自分を主人公とした物語を時間軸に沿って自由に書き綴ります。他の参加者と感想や疑問を話し合ったり、ハッピーエンドになるにはどうしたらよいかを考えたりしました。</p> <p><b>④ DIG(災害図上訓練)</b> 地図上に与えられた被害状況や起こりうる状況を書き込み、それに対する対処方法をグループで話し合いながら導き出しました。(今回は、避難ルートの選択)</p>
備考	HUGなど、学校の施設活用にかかわる部分は、教職員向けにも実施依頼がありました。